【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【公開番号】特開2008-40815(P2008-40815A)
【公開日】平成20年2月21日(2008.2.21)
【年通号数】公開・登録公報2008-007
【出願番号】特願2006-214675(P2006-214675)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　17/21　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　17/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/21　５０１Ｚ
Ｇ０６Ｆ　17/30　３６０Ｚ
Ｇ０６Ｆ　17/21　５３８Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成21年6月10日(2009.6.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
時期または期間の情報を有するデータを、時間軸上の対応する位置に配置したテーブルを作成する方法であって、
テーブル作成領域が設けられたテーブル作成用画面を表示する工程と、
そのテーブル作成用画面に前記時間軸を表示する工程と、
選択指示された複数の前記データを取得する工程と、
その取得された複数の前記データを、それぞれのデータが有する前記時期または期間の情報に基づいて前記テーブル作成領域に前記時間軸に沿って配置して、前記テーブルを作成する工程と、
を備えるテーブル作成方法。
【請求項２】
請求項１のテーブル作成方法において、
前記テーブル作成領域に配置された複数のデータを並べ替える工程をさらに備えるテーブル作成方法。
【請求項３】
請求項１のテーブル作成方法において、
前記テーブル作成領域に配置された一部または全部のデータに替えて、別途取得されたデータを前記テーブル作成領域に配置する工程をさらに備えるテーブル作成方法。
【請求項４】
請求項１のテーブル作成方法において、
前記テーブル作成領域に配置された複数のデータの並び状態を、横方向に並ぶ横並び状態と縦方向に並ぶ縦並び状態との間で変更する工程をさらに備えるテーブル作成方法。
【請求項５】
請求項１のテーブル作成方法において、
前記テーブル作成領域に配置可能なデータの数を設定または変更する工程をさらに備えるテーブル作成方法。

【請求項６】
請求項１のテーブル作成方法において、
前記テーブル作成領域における各データの表示幅を設定または変更する工程をさらに備えるテーブル作成方法。
【請求項７】
請求項１のテーブル作成方法において、
前記テーブル作成領域に配置され、ユーザにより指示されたデータが、コンテンツデータに関連するとき、当該コンテンツデータを取得して、当該コンテンツを再生する工程をさらに備えるテーブル作成方法。
【請求項８】
時期または期間の情報を有するデータを、時間軸上の対応する位置に配置したテーブルを作成する情報処理装置であって、
操作入力手段と、
この操作入力手段による操作に応じて、テーブル作成領域が設けられたテーブル作成用画面を表示し、そのテーブル作成用画面に前記時間軸を表示する処理手段と、
前記操作入力手段により選択指示された複数の前記データを取得し、その取得された複数の前記データを、それぞれのデータが有する前記時期または期間の情報に基づいて前記テーブル作成領域に前記時間軸に沿って配置して、前記テーブルを作成する制御手段と、
を備える情報処理装置。
【請求項９】
請求項８の情報処理装置において、
前記制御手段は、前記操作入力手段による操作に応じて、前記テーブル作成領域に配置された複数のデータを並べ替える情報処理装置。
【請求項１０】
請求項８の情報処理装置において、
前記制御手段は、前記操作入力手段による操作に応じて、前記テーブル作成領域に配置された一部または全部のデータに替えて、別途取得されたデータを前記テーブル作成領域に配置する情報処理装置。
【請求項１１】
請求項８の情報処理装置において、
前記制御手段は、前記操作入力手段による操作に応じて、前記テーブル作成領域に配置された複数のデータの並び状態を、横方向に並ぶ横並び状態と縦方向に並ぶ縦並び状態との間で変更する情報処理装置。
【請求項１２】
請求項８の情報処理装置において、
前記制御手段は、前記操作入力手段による操作に応じて、前記テーブル作成領域に配置可能なデータの数を設定または変更する情報処理装置。
【請求項１３】
請求項８の情報処理装置において、
前記制御手段は、前記操作入力手段による操作に応じて、前記テーブル作成領域における各データの表示幅を設定または変更する情報処理装置。
【請求項１４】
時期または期間の情報を有するデータを、時間軸上の対応する位置に配置したテーブルを作成するためにコンピュータを、
テーブル作成領域が設けられたテーブル作成用画面を表示し、そのテーブル作成用画面に前記時間軸を表示する処理手段、および、
選択指示された複数の前記データを取得し、その取得された複数の前記データを、それぞれのデータが有する前記時期または期間の情報に基づいて前記テーブル作成領域に前記時間軸に沿って配置して、前記テーブルを作成する制御手段、
として機能させるテーブル作成用プログラム。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
この発明は、年表などのような、ある時期または期間に係る事項を時間軸上のそれぞれの事項に対応する時期または期間の位置に示したテーブルを作成する方法およびシステムに関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
この発明のテーブル作成方法は、
時期または期間の情報を有するデータを、時間軸上の対応する位置に配置したテーブルを作成する方法であって、
テーブル作成領域が設けられたテーブル作成用画面を表示する工程と、
そのテーブル作成用画面に前記時間軸を表示する工程と、
選択指示された複数の前記データを取得する工程と、
その取得された複数の前記データを、それぞれのデータが有する前記時期または期間の情報に基づいて前記テーブル作成領域に前記時間軸に沿って配置して、前記テーブルを作成する工程と、
を備えるものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
上記のテーブル作成方法では、作成するテーブルが年表の場合、ユーザは、インターネット上などの外部ネットワーク上、またはローカルに存在する様々な年表データから、任意の複数の年表データを選択するだけで、同一の時間軸に沿って任意の用途に使用できるマルチ年表を得ることができる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
サーバ９１は、Ｗｅｂサイト上のＷｅｂサービスとして、各種の年表やコンテンツなどを提供し、情報処理装置１０からの要求に応じて、年表データやコンテンツデータなどのデータを情報処理装置１０に送信する。このサーバ９１には、各種の年表データやコンテンツデータなどのデータが蓄積されるネットワークストレージ９２が接続される。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００２６】
マルチ年表のもとになる年表データは、外部ネットワーク上に存在するものでも、ローカルに存在するものでもよい。以下に述べる実施形態では、外部ネットワーク上に存在する年表データ、すなわち図１の例ではサーバ９１側のネットワークストレージ９２に記録されていてＷｅｂサイトで提供される年表データをもとにマルチ年表を作成する場合を、主として示す。ローカルに存在する年表データ、すなわち図１の例では内部記憶装置１３またはローカルストレージ２５に記録されている年表データをもとにマルチ年表を作成する場合については、他の実施形態として後述する。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
表示メニュー選択部３１は、プルダウンメニュー方式によって、“時間軸”または後述のような各種の年表中のいずれかを選択するものであり、時間軸設定部３２は、時間軸として“Ｄｅｃａｄｅ”，“Ｙｅａｒ”，“Ｍｏｎｔｈ”のいずれを表示するかを設定するものである。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３６】
＜１年単位の場合：図３～図７＞
ユーザは、まず、表示メニュー選択部３１で“時間軸”を選択し、時間軸設定部３２で“Ｄｅｃａｄｅ”，“Ｙｅａｒ”，“Ｍｏｎｔｈ”のいずれかを指示する。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】
この状態で、ユーザが、表示メニュー選択部３１で、Ｗｅｂサイトで提供される各種の年表から、「Ｓ社の製品の歩み」というタイトルの年表を選択すると、情報処理装置１０で、当該の年表のデータが取得され、ＣＰＵ１１によって、図４に示すように、年表作成領域４０内の時間軸４１に隣接する左側の領域４２に、当該の年表１が配置表示されるとともに、領域４２の上側に、当該の年表１のタイトル「Ｓ社の製品の歩み」、および年表１を閉じるためのボタン４２ｘが表示される。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
この状態で、ユーザが、表示メニュー選択部３１で、Ｗｅｂサイトで提供される各種の年表から、「日本のＴＶアニメ」というタイトルの年表を選択すると、情報処理装置１０で、当該の年表のデータが取得され、ＣＰＵ１１によって、図５に示すように、年表作成領域４０内の領域４２に隣接する中央の領域４３に、当該の年表２が配置表示されるとともに、領域４３の上側に、当該の年表２のタイトル「日本のＴＶアニメ」、および年表２

を閉じるためのボタン４３ｘが表示される。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
さらに、この状態で、ユーザが、表示メニュー選択部３１で、Ｗｅｂサイトで提供される各種の年表から、「もりえもん年表」というタイトルの年表を選択すると、情報処理装置１０で、当該の年表のデータが取得され、ＣＰＵ１１によって、図６に示すように、年表作成領域４０内の領域４３に隣接する右側の領域４４に、当該の年表３が配置表示されるとともに、領域４４の上側に、当該の年表３のタイトル「もりえもん年表」、および年表３を閉じるためのボタン４４ｘが表示される。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
＜ズームアウトおよびズームイン：図８および図９＞
ユーザが、表示メニュー選択部３１で“時間軸”を選択する際、時間軸設定部３２で“Ｄｅｃａｄｅ”を指示し、かつ、上記の例と同様に、表示メニュー選択部３１で、「Ｓ社の製品の歩み」というタイトルの年表、「日本のＴＶアニメ」というタイトルの年表、および「もりえもん年表」というタイトルの年表を、順次選択した場合には、ズームアウトとして、図８に示すように、年表作成領域４０に、時間軸４１として１０年単位の年代が表示されるとともに、領域４２に年表１が配置表示され、領域４３に年表２が配置表示され、領域４４に年表３が配置表示されて、横並び状態のマルチ年表が作成される。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５０】
また、ユーザが、表示メニュー選択部３１で“時間軸”を選択する際、時間軸設定部３２で“Ｍｏｎｔｈ”を指示し、かつ、上記の例と同様に、表示メニュー選択部３１で、「Ｓ社の製品の歩み」というタイトルの年表、「日本のＴＶアニメ」というタイトルの年表、および「もりえもん年表」というタイトルの年表を、順次選択した場合には、ズームインとして、図９に示すように、年表作成領域４０に、時間軸４１として１か月単位が表示されるとともに、領域４２に年表１が配置表示され、領域４３に年表２が配置表示され、領域４４に年表３が配置表示されて、横並び状態のマルチ年表が作成される。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８１】
ユーザが最初に、“Ｊａｐａｎｅｓｅ　Ｃｏｍｉｃ”というタイトルの年表を選択すると、情報処理装置１０で、当該の年表のデータが取得され、ＣＰＵ１１によって、図１３に示すように、領域６２中の上部領域に、当該の年表５が配置表示されるとともに、年表作成領域６０の外側において年表５の右側に、年表５のタイトル“Ｊａｐａｎｅｓｅ　Ｃ

ｏｍｉｃ”が表示される。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８６】
さらに、例えば、図１６の状態で、“Ｗｏｒｌｄ　Ｆｏｏｔｂａｌｌ”というタイトルの年表を選択すると、情報処理装置１０で、当該の年表のデータが取得され、ＣＰＵ１１によって、図１７に示すように、領域６２中の下部領域に、当該の年表６が配置表示されるとともに、年表作成領域６０の外側において年表６の右側に、年表６のタイトル“Ｗｏｒｌｄ　Ｆｏｏｔｂａｌｌ”が表示される。